

受託・共同研究管理システムの内製開発

背景

大学における受託研究・共同研究は、企業・自治体との課題解決や社会実装を推進する重要な連携手段として重視されている。

問題点

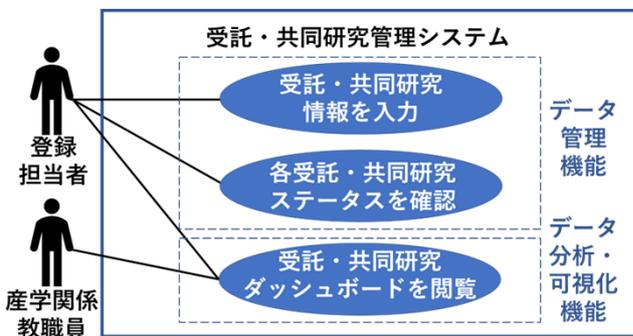
- 従来の研究支援業務では、
- ・ 契約情報や進捗管理が個別担当者に依存しやすい。
 - ・ プロジェクト状況の即時把握が困難。
 - ・ 過去の連携実績が組織知として蓄積されにくいといった課題が存在する。

本研究の目的

- 企業・自治体との受託・共同研究に関する情報を一元管理・可視化する「受託・共同研究管理システム」を内製開発し、
- ・ 産学連携研究における関係性の可視化をおこなう。
 - ・ 継続的な発展的連携の促進をおこなう。

期待される効果

- ・ 過去の研究実績の蓄積・分析による戦略的な共同研究提案
 - ・ 研究状況の俯瞰把握による意思決定支援
- 企業・官公庁との継続的かつ発展的な連携関係の強化が期待される。



受託研究台帳 登録/編集画面

学部
創造工学部

職名
特命教授

氏名
※変更した際は、過去の情報を備考欄に書き残してください

研究題目
※変更した際は、過去の情報を備考欄に書き残してください

プロジェクトコード

